

種目（技術）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原理・法則や基礎的な仕組みについて裏付ける図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が取得できるよう配慮されている。 ・ 見方・考え方を確認する活動を設け、統一された問題解決の流れを示し、自分自身の見通しがもてるよう配慮されている。 ・ 自分自身の問題解決の過程を振り返り、取り組んだ内容や新たな問題解決に向けての課題などを確認できるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 (2) ガイダンスや各編の題材の構成が、「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。 (3) 生活を実感的にとらえるために「技術のとびら」「技術の匠」「技術の工夫」など興味をもって追究できるよう配慮されている。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全」マーク、「衛生」マークで記したりして、安全に作業できるよう配慮されている。 (5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。写真や図版を多く用いて製作工程を示し、製作の流れが詳しく分かるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各編の冒頭に「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮されている。 (2) 環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境の保全や省エネルギーなどに対応していく態度が身に付くよう配慮されている。 (3) 各編で、見方・考え方を扱い、理解する・問題解決に取り組む・つなげる、広げるという学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 (4) 活動や問題解決例を多く掲載し、主体的に調べたり、協働して比較・検討したりするための発問などを設け、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう配慮されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されている。伝統的な製作物から新素材や最新の建造物等まで幅広く取り扱うことができるよう配慮されている。 (6) 「チェック 技術の見方・考え方」で問題解決を確認し、「学習のまとめ」で知識・技能の確認や考えを深め生活に生かすためのまとめができるよう項目や観点が工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術を学ぶよさを感じられるよう、「問題解決カード」をもとに、生徒が主体的に問題解決できるよう工夫されている。 ・ 多様な題材を取り入れ、製作・実習の際のつまずきを写真や図で示すなど、円滑に学習できるよう工夫されている。

種目（技術）

発行者名 採択基準	教育図書（New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ <見つける→学ぶ→ふり返る>の学習の流れで、学習の理解を自己評価して深められるよう配慮されている。 ・ 設計・計画の流れを各編で共通で4ステップにまとめることで、生徒が問題解決の力を養えるよう配慮されている。 ・ 技術の役割や活用についてまとめることで、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 (2) ガイダンスや各章の題材構成が、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。 (3) 生活を実感的にとらえるために「スゴ技」「技ビト」「資料」などで興味・関心をもった追究ができるように配慮されている。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全マーク」「衛生マーク」で記したりして、安全に作業できるよう配慮されている。 (5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。実習例などを見開き2ページ大きく表示し、左から右へ製作の流れが詳しくわかるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習の項目の冒頭に他教科や小学校とのリンクマークを設け、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮されている。 (2) 「環境マーク」「共生マーク」を配することで環境への意識を高め、持続可能な社会に対応していく態度が身に付くよう配慮されている。 (3) 各編で、見方・考え方を扱い、見つける、見つめる・学ぶ・ふり返るという学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 (4) 生徒がイメージしやすい発問を生徒同士や生徒と教師による対話形式で掲載するとともに、本文を3文構成にして、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう工夫されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明等が段階を追って記述されている。各章扉に最新の技術や建造物などを取り扱えるよう配慮されている。 (6) 各編の1章、2章の終わりにまとめのページが配置され、各編の終わりには3つの観点毎にまとめ問題が配置されており、内容を確認することができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入で簡単な題材の製作をすることで、製作することの喜びや技術を学ぶことよさを感ぜられるよう工夫されている。 ・ 多様な題材を掲載し、手順を分かりやすく示すことで、興味・関心をもって追究できるよう工夫されている。

種目（技術）

発行者名 採択基準	開隆堂（技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を通して社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるよう配慮されている。 ・ 導入課題を設けて生徒に問題意識を持たせ、自ら解決しようとする能力を養うよう配慮されている。 ・ 社会や環境と技術の関わりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を評価・活用する態度を育むよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「生活や社会と技術」「技術による問題解決」「これからの技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 (2) ガイダンスや各内容の題材構成が、「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。 (3) 生活を実感的にとらえるために「参考」「探究」「コラム」などで興味・関心をもった追究ができるよう配慮されている。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、最初に全体像をイラストで記し、「安全」マークで記し、安全に作業できるよう配慮されている。 (5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。自分が作業しているアングルで撮影した写真や図版により、製作の流れが詳しく分かるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各内容の扉に「小学校との関連」「中学校他教科との関連」があり、関連する他教科と連携を図れるよう配慮されている。 (2) 環境に関する記述部分には「環境マーク」を付して、環境への意識を高め、循環型社会に対応していく態度が身に付くよう配慮されている。 (3) 各内容で、見方・考え方を使い、気付く・はたらかせる・定着させるという学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開が工夫されている。 (4) 他者と関わり合いを持ちたいような「実験」「課題」などを適所に配置するなど、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう工夫されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されている。伝統的な工芸や新技術等も幅広く取り扱えるよう配慮されている。 (6) 各内容の終わりに「学習のまとめ」を設け、チェック項目による確認や、技術の仕組み、工夫の評価と、学びを深める発展的なまとめができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術と産業との関わりを随所に掲載し、技術を学ぶことのよさを実感し、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫されている。 ・ 実習を行う際は、科学的な原理・法則などを踏まえて計画・設計し、具体的なものが創造できるよう工夫されている。

種目（家庭）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動や「いつも確かめよう」で確認することで、基礎的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 問題解決的な学習の流れを繰り返すことで、生活の中の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・ ガイダンスや各編の導入で生活の営みに係る見方・考え方を例示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容を生かし発展的な学習ができるよう題材配列されている。 (2) 「話し合ってみよう」「活動」を設け、身近な生活の問題を提示し、「まとめよう」「生活に生かそう」で生活を工夫、創造するような題材の構成が工夫されている。 (3) 「活動」で提示された実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮されている。 (4) 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」や「いつもたしかめよう」、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮されている。 (5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻頭のガイダンス、「生活の営みに係る見方・考え方の例」「リンク」などで学習内容との関連を図るよう配慮されている。 (2) 各編の「資料」の図表や「せいかつメモ」など、身近な生活の問題や地域の行事等で活用できるよう工夫されている。 (3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 (4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「活動」で家庭実践に発展できるよう配慮されている。 (5) 内容に焦点化したさし絵・写真・図表等で、生徒が興味・関心をもって生活の課題を考えられるよう配慮されている。 (6) 基礎的内容を「まとめよう」「自己評価」でスモールステップで振り返り、各編の「学習のまとめ」で評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家族・家庭の基本的な機能」「生活の営みに係る見方・考え方の例」で学習内容との関連が明確になるよう工夫されている。 ・ 生活での実践に必要な基礎的技能を「いつも確かめよう」で繰り返し確認し身に付けられるよう配慮されている。

種目（家庭）

発行者名 採択基準	教育図書（New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 「学びを生かそう」で、繰り返し問題解決的な学習を行うことで生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・ 学習に関わりのある地域や社会の人々のメッセージを取り上げることで、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 簡易な手順の実習やロールプレイングなどを組み合わせ、生徒の発達段階や生活実態等を踏まえ題材配列されている。 (2) 巻頭の折り込み頁の写真やイラストと、各章の導入の身近な生活の問題から「やってみよう」「学びを生かそう」の流れで、生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。 (3) 「考えてみよう」「話し合ってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。 (4) 巻頭の「実習は安全に取り組もう」や、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。 (5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「やってみよう」「学びを生かそう」で身に付けた知識・技能を関連付けて活用し、課題解決的な学習となるよう配慮されている。 (2) 巻頭の折り込み頁の写真やイラスト、「学びを生かそう」で家庭生活や地域の行事等に関連付けられるよう配慮されている。 (3) 各題材の「見つめる」で生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、「学びを生かそう」で生徒が課題を選択して主体的・対話的に取り組めるような題材の取扱いがされている。 (4) 「自立度チェック」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、家庭と連携して学習を生活に生かせるよう工夫されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容を、身近な生活の課題解決や現代社会の課題の想起に活用できるよう配慮されている。 (6) 各章の「ふり返る」で身に付いた知識・技能を確認し、章末の「学習のふり返り」で資質・能力の三つの柱に対応した観点に沿って評価できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学びを生かそう」「生活の課題と実践」などで学習過程を意識した実践を繰り返し、課題を解決する力が身に付くよう配慮されている。 ・ 「考えてみよう」などのワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びの実現に向け工夫されている。

種目（家庭）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">開隆堂（技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 「生活にいかそう」で、問題解決的な学習を行うことで生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・ 身に付けた知識や技能を生かし、地域や社会に目を向け持続可能な生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「小学校での学び」の振り返りから知識・技能を身に付け、実生活や持続可能な社会への活用に配慮し、題材配列されている。 (2) 家庭や地域の人々との関わりなどの身近な生活の問題に目を向け、課題解決への流れと具体的な例示で、生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。 (3) 「やってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮されている。 (4) 調理や製作等の安全に関わる基礎・基本や、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮されている。 (5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各題材や教科書全体を通して、家庭の機能や自立と共生、生活の見方・考え方を関連付けた学習となるよう配慮されている。 (2) 「先輩からのエール」や具体的な活動例、「生活にいかそう」で家庭生活や地域の行事等で活用できるよう配慮されている。 (3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動や「生活にいかそう」で主体的・対話的に学習できるよう、生活に身近な題材の取扱いがされている。 (4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「生活にいかそう」で家庭実践につなげられるよう配慮されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容を活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮されている。 (6) 小題材ごとの「ふりかえり」「生活にいかそう」を設け、自分の言葉で考え、学習内容の定着や生活への発展が図れるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各内容の最後に、持続可能な社会の項目を設け、課題を理解し、主体的に考え行動できるように内容が工夫されている。 ・ 各内容のまとめりに、「生活にいかそう」で学んだことを生徒の身近な課題にすぐに生かせるよう配慮されている。